

# 海陽町の観光業について

海部高等学校

## 概要

海陽町は多くの観光客を呼び込む活動をしているが、地域に観光業による経済効果が十分に還元されていないように感じられる。また海陽町の高齢化率は45%を越えており、今後もさらに過疎化が進むとされている。そこで私たちは海陽町の地域活性化に向けて、海陽町に来た観光客の訪問先や消費行動について分析し、海陽町の観光振興に向けた課題と改善策を考え、まとめた。

## 研究動機

海陽町にはサーファーの方々やお遍路さんが多く訪れているが、そういった人々が町内でどの程度の消費行動をしているのか関心を持った。また海陽町は高齢化社会が進んでいるが、観光資源を活用することで現状を改善できることができないのではないかと考えた。そこで海陽町にある観光施設がどの程度の観光客を呼び込んでいるのか調べる必要性を感じ、研究するに至った。

## 研究手法

右のようなアンケートを実施し海陽町に来た観光客がどのような目的・用途でこの町に来たのかを調べる

### アンケート内容

- ・年齢・出身
- ・海陽町に来た目的
- ・どこで食事をするか
- ・何を買ったのか
- ・何日海陽町に滞在するのか

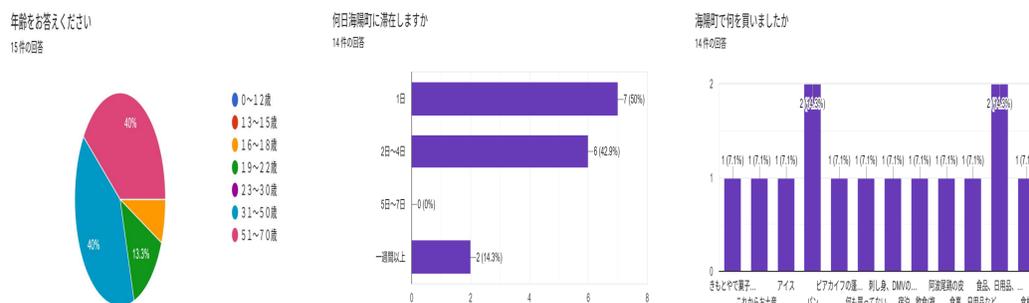
## 仮説

旅行タイプ	宿泊	食事	交通	観光	合計
節約旅行	¥4,000~¥8,000 (安い民宿など)	¥2,000~¥3,000 (朝、昼、夜合計)	¥1,000~¥2,000 (町内の移動)	¥1,000~¥1,500 (無料散策+少額体験)	¥8,000~¥14,500
普通	¥8,000~¥15,000 (中~リーズナブル)	¥3,000~¥6,000	¥2,000~¥4,000	¥1,500~¥3,000	¥14,500~¥28,000
快適・満喫	¥15,000~¥30,000 (夕・朝食付き宿)	¥6,000~¥10,000 (外食含む)	¥3,000~¥6,000	¥3,000~¥6,000	¥27,000~52,000

「轟九十九滝」、透明度抜群の海が美しい「水床湾」と「竹ヶ島」、世界でも珍しい鉄道・バス・鉄道のモードチェンジ体験ができる「阿佐海岸鉄道DMV」そしてサーフィンの聖地、マリッジが盛んな太平洋沿岸その他、「道の駅穴喰温泉」での休憩やグルメ、歴史的な「鯖大師本坊八坂寺」なども人気

## アンケート結果から

- ・中年層の観光客が多いことが判明したため、**中年層をターゲットにした観光戦略**を考える。
  - ・食料品の購入が多かったため、海陽町の海の幸や特産品等を外に発信する。
  - ・海陽町周辺は宿泊施設が多いため、認知してもらえるよう**看板やインターネットを活用した宣伝を行う**。
- ※しかしながら、アンケート調査数が少ないためさらに追加調査を行うこととした。



## 追加調査

海陽町商業施設の利用者数 (入りこみ客)

R6 ホテルリビエラ	28,000人
道の駅	36,000人
遊遊NASA	34,000人
まぜのおか	17,000人
マリッジヤム	4,500人



DMV 乗客者数	
R4	40,000人
R5	30,000人
R6	25,000人



- ・DMVに関する調査では、R6年に実施したアンケートでは304人のうち95%が初めての乗車だと回答
- ・DMVの利用客が年々減少傾向にある
- ・経済効果については統計は取られておらず

## 追加調査からの考察・提案

### 〈考察〉

- ・海陽町は世界初のDMVを他の観光に繋げ、観光客の集客を目指しているが、現状DMVの利用者数は減少しており、DMVの認知度を高める必要性があるのではないか
- ・DMVを観光の核としているが、DMVのみではインパクトに欠け、他の観光業の育成が必要なのではないか



### 〈提案〉

- ・コロナ禍以前に行われていた**修学旅行生の受け入れを復活**させ、地域経済を活性化させる
- ・**SNSによる情報発信を活用**し、DMVの認知度を高めるとともに、海陽町PR動画を作成し海陽町の魅力を発信していく